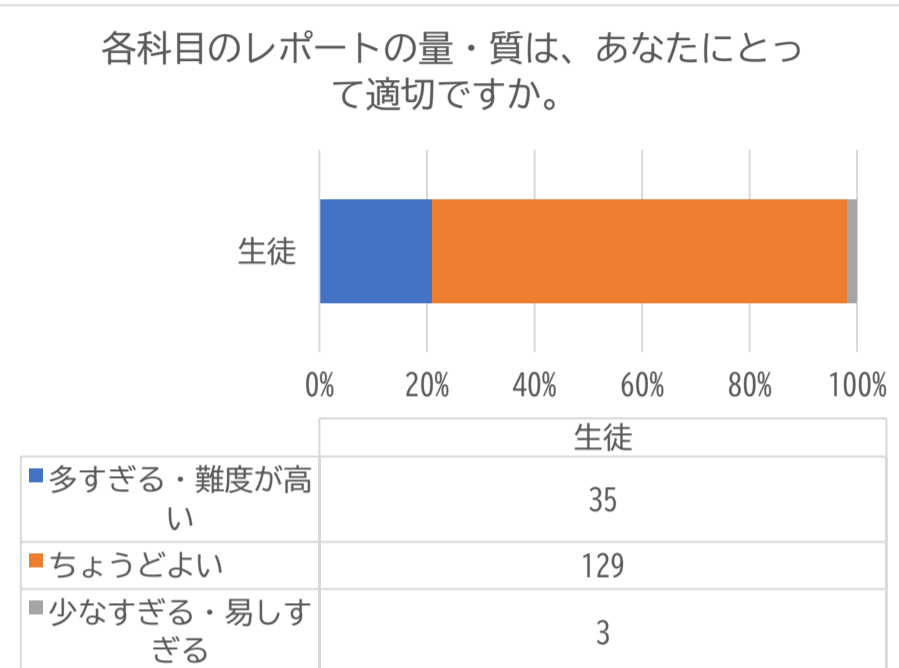
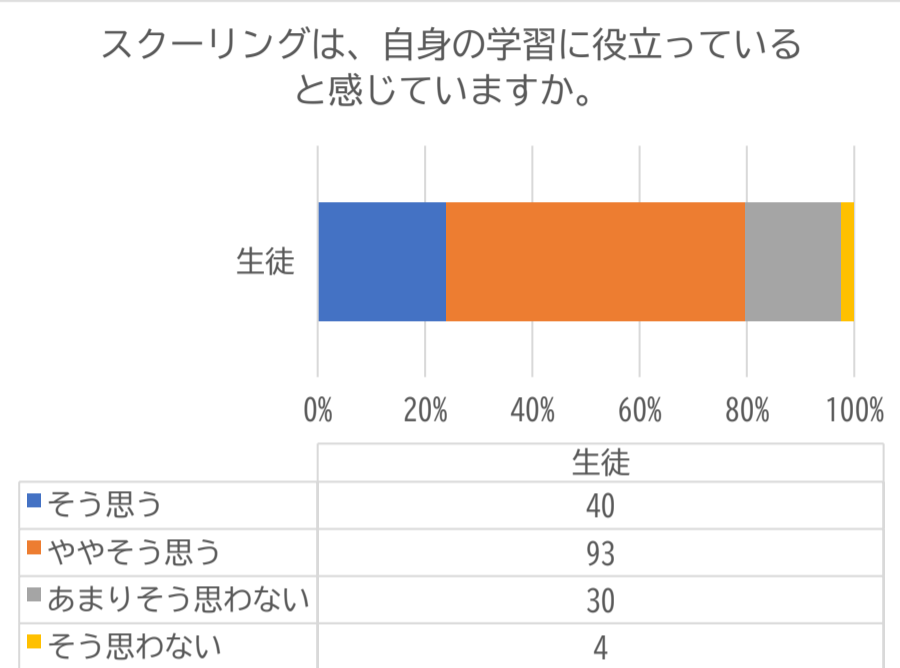
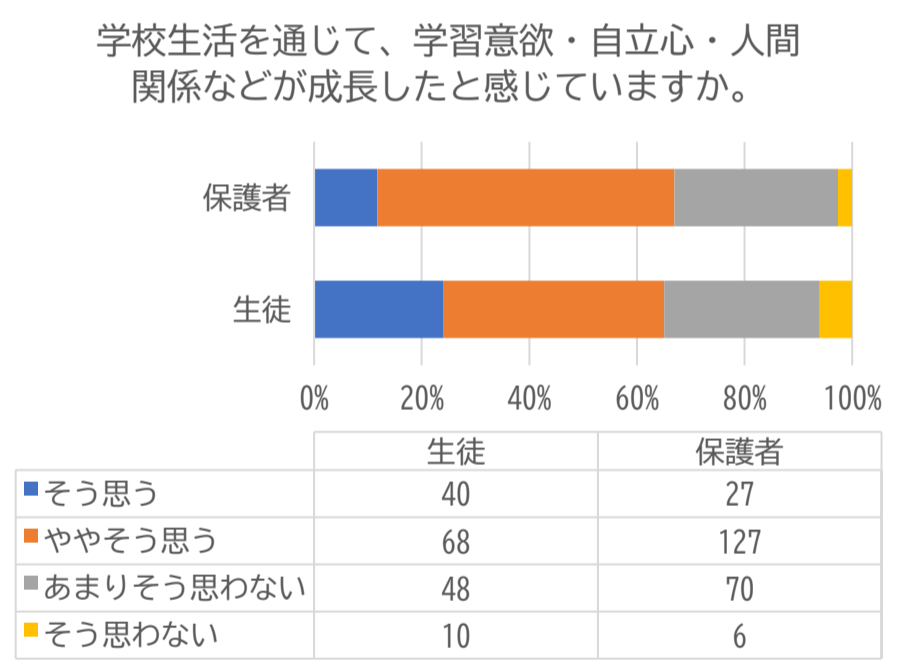


評価項目

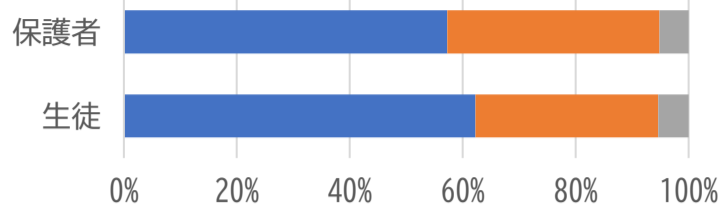
1	学習指導	生徒の意欲的・自主的な学習を推進し、基礎学力向上を図る。
2	生徒サポート	生徒一人ひとりが安心して学校生活を送れるようサポート体制の充実を図る。
3	進路指導	生徒が各々の進路目標を実現できるよう進路指導體制の充実を図る。
4	学校全般	高校生活において満足感と達成感が得られるよう学校全体で取り組む。

回答数 生徒167名(25.3%) 保護者234名(35.4%)

達成度:アンケートの回答(「そう思う」「ややそう思う」)の回答平均値
A:平均80%以上 B:平均60%以上 C:平均40%以上 D:平均40%未満

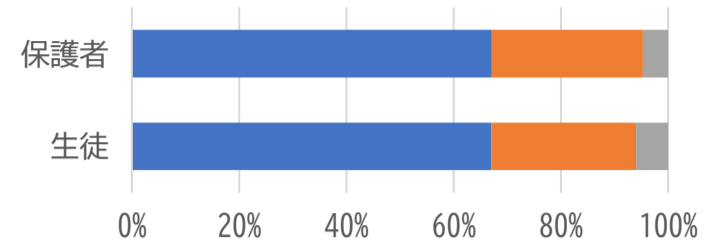
I 学習指導	<p>各科目のレポートの量・質は、あなたにとって適切ですか。</p>  <table border="1" data-bbox="210 1068 1050 1305"> <thead> <tr> <th colspan="2">生徒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 多すぎる・難度高い</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>■ ちょうどよい</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>■ 少なすぎる・易すぎる</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		生徒		■ 多すぎる・難度高い	35	■ ちょうどよい	129	■ 少なすぎる・易すぎる	3	<p>スクーリングは、自身の学習に役立っていると感じていますか。</p>  <table border="1" data-bbox="1113 1068 1953 1305"> <thead> <tr> <th colspan="2">生徒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ そう思う</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>■ ややそう思う</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>■ あまりそう思わない</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>■ そう思わない</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		生徒		■ そう思う	40	■ ややそう思う	93	■ あまりそう思わない	30	■ そう思わない	4
	生徒																					
	■ 多すぎる・難度高い	35																				
	■ ちょうどよい	129																				
■ 少なすぎる・易すぎる	3																					
生徒																						
■ そう思う	40																					
■ ややそう思う	93																					
■ あまりそう思わない	30																					
■ そう思わない	4																					
<p>学校生活を通じて、学習意欲・自立心・人間関係などが成長したと感じていますか。</p>  <table border="1" data-bbox="210 1751 1050 1988"> <thead> <tr> <th></th> <th>生徒</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ そう思う</td> <td>40</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>■ ややそう思う</td> <td>68</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>■ あまりそう思わない</td> <td>48</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>■ そう思わない</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>					生徒	保護者	■ そう思う	40	27	■ ややそう思う	68	127	■ あまりそう思わない	48	70	■ そう思わない	10	6				
	生徒	保護者																				
■ そう思う	40	27																				
■ ややそう思う	68	127																				
■ あまりそう思わない	48	70																				
■ そう思わない	10	6																				
課題		具体的取組み	達成度	次年度への課題と改善方策																		
<p>・レポート添削について、科目によって添削が十分でなく、レポート返却後の復習に向けての生徒のモチベーションを高めるような解りやすい添削が求められる。</p> <p>・動画授業コンテンツ、Classiでの課題指示などオンライン学習環境活用を推進し、災害や感染症等で登校できない場合でも生徒の学びを止めない取組みを工夫する。</p>		<p>・レポートの添削指導について、繰り返し職員研修を行ない、添削の充実に取り組んだ。</p> <p>・一部学習センターのコース授業において、感染症等で登校できない生徒に対して、zoomを活用したコース授業のリアルタイム中継を行ない、継続した学びを維持し、モチベーションを保つことができるようにした。</p>	B	<p>課題: レポート添削の質に科目間で差があり、復習につながる指導の充実が求められている。本校スクーリング会場の空調設備に対する改善要望も多い。</p> <p>改善方策: 添削指導の基準を統一し、研修を継続して質の向上を図る。動画授業やClassiを活用したオンライン学習を拡充し、学習継続性を高める。空調設備についてはスクーリング時期の調整等、生徒の健康安全に配慮した計画を進める。</p>																		

学習や生活面で困ったとき、学習センターの先生に相談しやすいと思いますか。



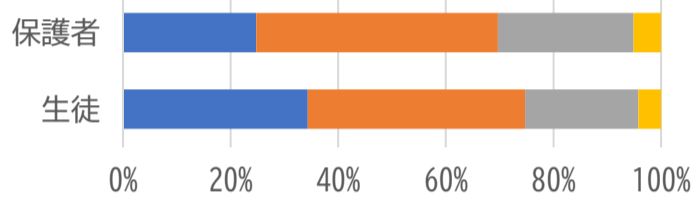
	生徒	保護者
■ そう思う	104	134
■ ややそう思う	54	88
■ あまりそう思わない	9	12
■ そう思わない	0	0

学校からの連絡（Classi, 電話など）は分かりやすく、必要な情報が届いていると思いますか。



	生徒	保護者
■ そう思う	112	157
■ ややそう思う	45	66
■ あまりそう思わない	10	11
■ そう思わない	0	0

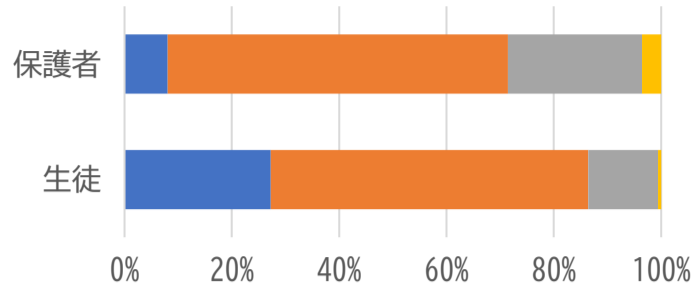
いじめやトラブルがあった場合、学校が適切に対応してくれると感じますか。



	生徒	保護者
■ そう思う	57	58
■ いじめやトラブルを経験していないのでわからない	67	105
■ どちらともいえない	35	59
■ そう思わない	7	12

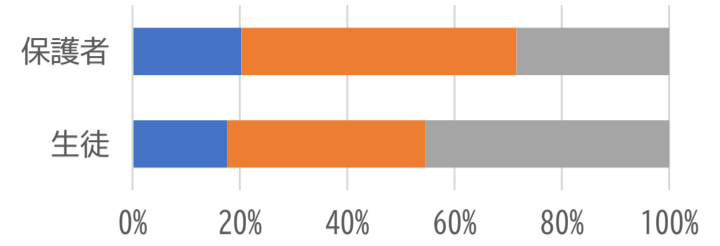
課題	具体的取組み	達成度	次年度への課題と改善方策
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーによるカウンセリングの利用について、利用率が低く、周知を進める必要がある。 ・学校生活において生徒が困った際に、相談しやすい環境づくりを推進していく。 ・対人コミュニケーション能力の育成と規範意識の高揚を図るとともに、自律心と自分と異なる他者への理解と思いやりのある心豊かな人間を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内連絡ツールであるClassiを活用し、生徒だけでなく、保護者へ直接カウンセリングの日程を周知するように改善した。 ・Classiで個別に相談できるメッセージ機能などを活用し、メールや電話よりも気軽に生徒が質問できるようにした。 ・グループワーク時に、学年を越えた班分けとプレゼンテーションの機会を増やし、他者理解と対人コミュニケーション能力の育成を図った。 	A	<p>課題： 相談しやすさは高評価だが、スクールカウンセラーの利用率が低く、周知不足が課題である。いじめ・トラブル対応の学校方針が十分に伝わっておらず、保護者からは情報伝達の迅速化を求める声がある。</p> <p>改善方策： カウンセリング利用案内を定期的に発信し、利用促進を図る。トラブル対応の流れを文書化し、生徒・保護者へ周知する。連絡手段の改善を検討し、必要な情報が確実に届く体制を整える。</p>

進路指導やキャリア教育のサポートに満足していますか。



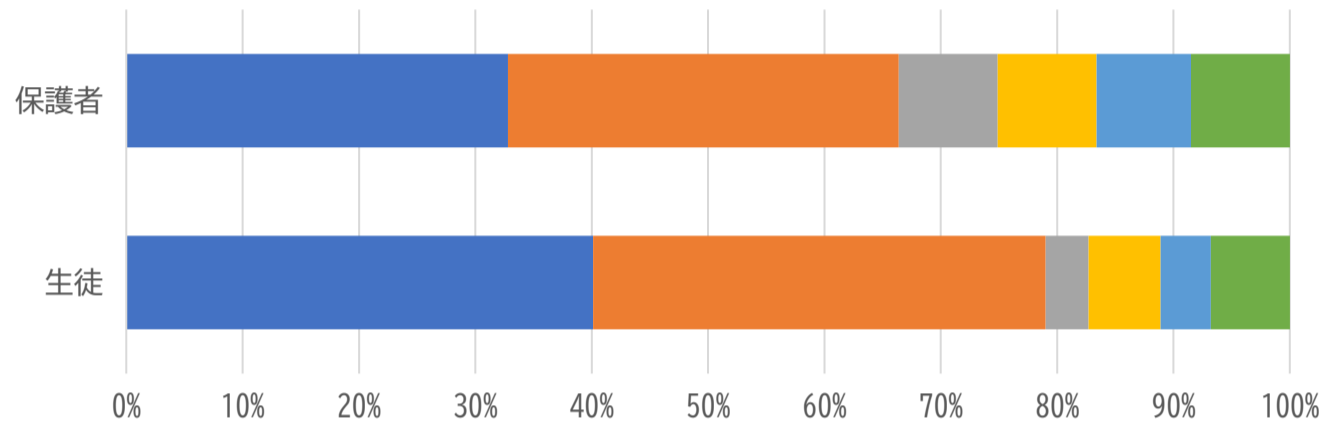
	生徒	保護者
■ そう思う	46	18
■ ややそう思う	100	142
■ あまりそう思わない	22	56
■ そう思わない	1	8

夏季・冬季休業期間中に、大学受験を意識した難易度の短期集中講座があれば参加したいと思いますか。



	生徒	保護者
■ そう思う	29	47
■ ややそう思う	61	119
■ あまりそう思わない	75	66
■ そう思わない	0	0

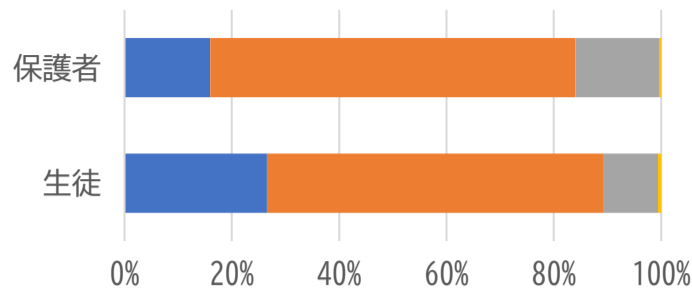
学習センターでの多様なコースへの関心を教えてください。（複数選択可）



	生徒	保護者
■ 現状のコースに満足（コース未所属）	65	81
■ 現状のコースに満足（通学型コースに所属）	63	83
■ パソコン活用や技能を高めるコースに関心あり（通学）	6	21
■ パソコン活用や技能を高めるコースに関心あり（オンライン受講）	10	21
■ 科目学習サポート型コースに関心あり（通学）	7	20
■ 科目学習サポート型コースに関心あり（オンライン受講）	11	21

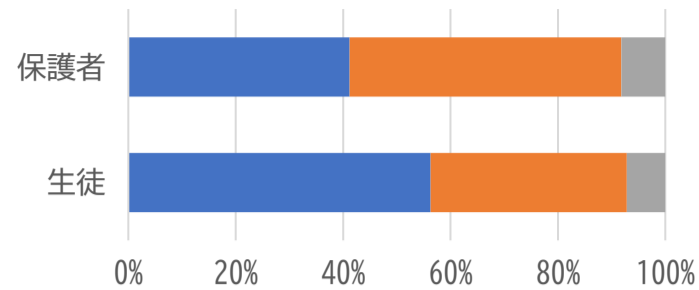
課題	具体的取組み	達成度	次年度への課題と改善方策
<ul style="list-style-type: none"> 各学習センターでの学びの特色を生かし、資格取得やコンテスト等へ向けた指導を充実し、キャリアアップを図る。 専門学校や企業との連携を通して、キャリア教育の充実、および生徒の興味・関心及び適正を重視した進路指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> MOS試験対策や英検対策の授業を学習センターにて行ない、資格取得に向けての向上心を育んだ。 兵庫鍼灸専門学校とICT専門学校と連携し、両校を体験するバスツアーを実施した。また、動植物飼育やイラスト体験など、多様な体験の機会を設け、生徒の興味関心の幅を広げるように取り組んだ。 	B	<p>課題： 進路指導への満足度は一定水準だが、進路情報の不足感が見られる。資格取得や専門分野への学習ニーズが増加しており、講座の拡充が求められる。短期集中講座への期待も高い。</p> <p>改善方策： 年間の進路イベント計画を整備し、体系的な進路指導を実施する。資格対策・パソコン活用などの講座を拡充し、オンライン併用で参加しやすい環境を整える。短期集中講座を試行し、効果を検証した上で拡大を検討する。</p>

学習センターや各コースでの学校生活に満足していますか。



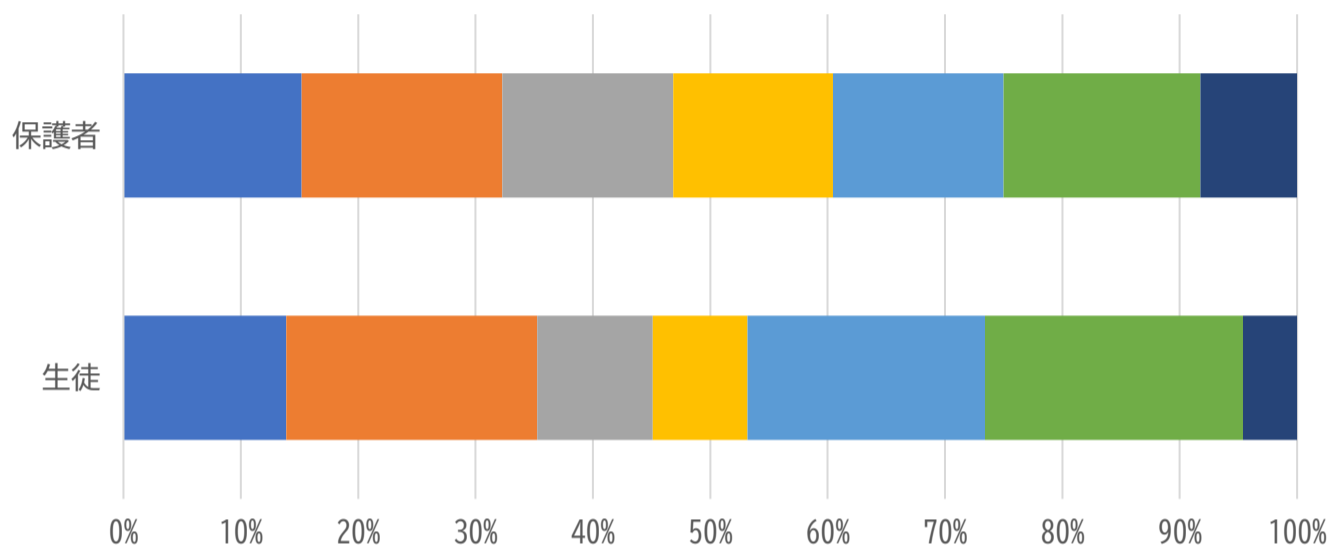
	生徒	保護者
■ そう思う	44	37
■ ややそう思う	104	158
■ あまりそう思わない	17	36
■ そう思わない	1	1

学校行事や交流の機会は、十分な頻度であると感じていますか。



	生徒	保護者
■ そう思う	94	96
■ ややそう思う	61	118
■ あまりそう思わない	12	19
■ そう思わない	0	0

今後、学校行事で行なってほしいものを選択してください。（複数選択可）



	生徒	保護者
■ 体育祭・球技大会	24	48
■ 文化祭	37	54
■ 大学や専門学校への集団見学	17	46
■ 企業や研究機関、展示会などの見学（キャリア教育）	14	43
■ 宿泊型旅行（修学旅行など）	35	46
■ 日帰り旅行（USJなど）	38	53
■ 過去の卒業生による講演会	8	26

課題	具体的取組み	達成度	次年度への課題と改善方策
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生活の充実に向けて、学校全体や学習センターでのイベントの充実を目指す。 ・相生市での行事への積極的参加を目指し、生徒の相生市への理解を深める。 ・学校評価アンケートへの回答率を上げる。 ・通信制高校の特色をよく理解して入学し、自分に最適なコースを選択してもらえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習である「大阪・関西万博見学バス旅行」では、生徒の自発的な班分けと役割分担を促し、また、事後のプレゼンテーションを行うことで自己表現力の育成に努めた。 ・羅漢の里もみじまつりにおけるかがしコンテストに参加するため、夏季休業前からデザインの企画、制作を生徒間で協力して行なった。 ・アンケートの回収時期を変更し、9月の単位認定試験や10月の三者面談時にも回答を促した。 ・入学前事前相談での授業体験の機会を増やし、保護者を交えたコースの選択に取り組んだ。 	A	<p>課題： 行事の頻度に関する要望が多く、センター間交流の機会もより拡充が求められる。アンケート回答率が低く、学校全体の実態把握に課題がある。</p> <p>改善方策： 全体行事の実施可能性を検討し、交流機会を増やす。キャリア教育の外部連携を拡大し、体験機会を充実させる。アンケート回答率向上のため、回答時期・方法をさらに工夫する。</p>

